

学校教育目標

自ら学び考え
主体的に行動する
心豊かな生徒

目指す生徒像

胸をはり
瞳輝く東中生

学校だより 瞳ひとみ輝かがや く

第2号 令和4年5月2日 川越市立東中学校長 福田和子

「教育が一人前の社会人をつくる」家庭や地域の願いに応える 「守・破・離」の東中三カ年教育

新年度がスタートし、ひと月が過ぎました。新入生一人一人が自分のやるべきことを確認し、クラスや学年の仲間と協調しながら東中学校の学校生活を着々と身に付けていきます。4月19日に実施した「体験学習」では、神川げんきプラザから指導員を招き、アドベンチャー教育活動を通して「仲間と協力するすばらしさ」を体験する中で「人を信頼する心」「達成感」「自他ともによりよくあろうとする心」を学びました。感染対策を講じながら新たな発見、学びの時間となりました。

また、4月15日には、全校保護者会、28日には、部活動保護者会を実施し、両日とも5校時の授業を参観していただきました。コロナ禍での授業参観は、参観の保護者の協力のもと、教室内も密になることなく久々の授業参観を実施できました。ご協力に感謝いたします。

令和5年度 標準服の変更についてのお知らせ

社会状況の変化や多様な性のあり方などについて学校は、今まで以上に対応していくことが必要になっていきます。東中学校生徒の健全な人格形成、人権感覚の育成などについて生徒自身が理解を深められるよう、また、今後の教育活動をより効果的に前進させる一助となるよう来年度に向け、標準服を変更します。保護者、地域の皆様には一層のご理解、ご協力をお願いします。

1 標準服変更に向けた考え方

(1) 社会状況の変化や生徒の健全な人格形成に配慮する。

・標準服の型は、Ⅰ型、Ⅱ型として体型別に選択できるようにする。

・Ⅰ型を男性体型の型、Ⅱ型を女性体型の型とし、上衣をブレザー、下衣をスラックスまたは、スカートから選択する。

・体型別の選択となるが、ブレザータイプとすることで全体的な印象は、Ⅰ型、Ⅱ型で大きく変えない。

(2) 公教育の役割として保護者の負担を大きくしない。

・「ブレザー」「スカートまたは、スラックス」を統一し、標準服とする。

・ワイシャツは、市販されている一般的なものとする。

・防寒用に長袖セーターを着用する。

＊現在も着用しているものと同様

(3) その他

・気候に合わせて着脱しやすい型（ブレザー）を採用する。

・ネクタイ、リボンなし。

(クールビズ対応が長期間となる、着用の指導、価格)

2 変更に伴う移行の対応について

(1) 令和5年度2、3年生の移行に向けた調査を実施する。

・現在の1、2年生の生徒、保護者を対象に移行期間に関わるアンケートを行う。

(2) 移行期の標準服着用に関わる対応を周知する。

・2学期中の周知予定とする。

(3) 令和5年度新入生は、新たな標準服を着用とする。



川越市男女平等教育推進のための
保護者向けのスライド資料

下記の QR コードから読み取り、市内の小中学校の取組の様子をご覧ください。

＊本校の活動の様子が多数掲載されています。

